

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当日より平成 28 年 3 月 4 日発行

3月の主な行事

3月14日(月)

県社会教育協議会理事会、県社会教育委員連絡協議会理事会(倉吉体育文化会館)

3月15日(火)

中部地区人権・同和教育担当者会(中部総合事務所)

3月18日(金)

東伯郡社会教育協議会役員会(中部総合事務所)

平成27年度学校支援ボランティア研修会

2月9日(火)に第2回学校支援ボランティア研修会が開催されました。「学校支援のあり方とコーディネーターの役割」と題して千葉敬愛短期大学の明石要一学長に御講演いただきました。また、実践発表として琴浦町立船上小学校の中田寛教頭先生に、地域との連携の様子をお話していただきました。

世の中の変化を理解しよう

- ・幼児のままごと遊びが10年間で変わってきている。調理場面ではなく「配膳遊び」が増えている。
- ・高校卒業後「就職しない」、「進学しない」ものが15%がいる。その子たちをどうするか。
- ・地区の児童会はなくなってきている。

変化をキャッチするアンテナを!



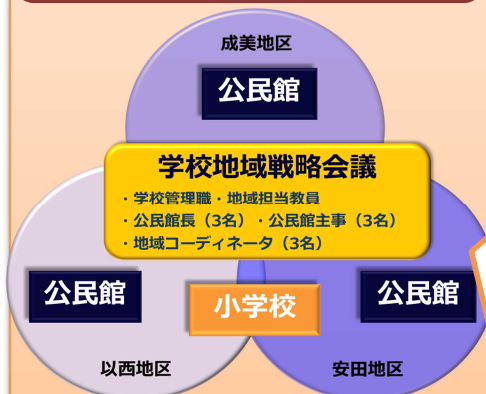
明石要一氏

コーディネーターとして

- ・具体的な数字や体験したこと、夢と希望を与える内容を話しましょう。
- ・活動を楽しみましょう。
- ・ミッションの遂行に熱意を持ちましょう。

学校と地域との関係を構築するための仕組み※統合を機に設置

船上小「学校・地域戦略会議」



取組

開催頻度 月に1回
開催時間 60~90分程度
開催場所 船上小会議室

戦略会議のメリット

- ◆学校を支える地域との連携の「大きな核」となっている。
- ◆関係機関が一堂に会することで互恵関係が構築できている。
- ◆公民館等との協力体制づくりが効率的にできている。
- ◆情報や知恵の共有により、新たな視点を得ることができている。



中田寛教頭先生

取組の実際(一部)

- ・全校遠足の企画→各地区公民館、コーディネーターと連携しながらコースや内容を検討。チェックポイントごとに説明者を配置し、児童が地域を学ぶ機会にした。
- ・運動会での地域種目の企画→「ふなのえ縦断ウルトラクイズ」を実施。クイズでは地域と関わる内容を設定した。
- ・学校公開日に住民を呼ぶ企画→より多くの地域の方に見ていただくため、児童の手紙作戦を企画した。

学校のみならず地域も元気になる協働関係ができています。



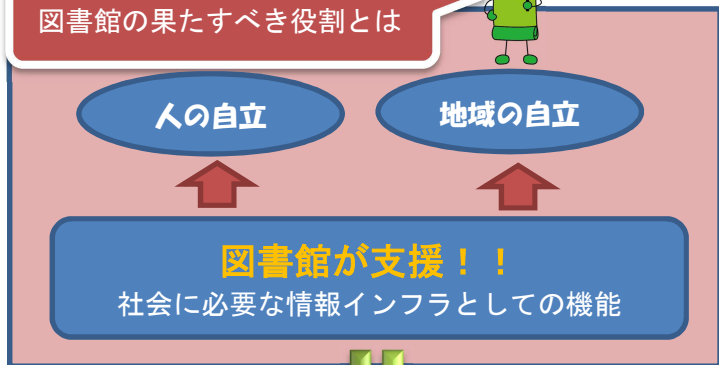


県立図書館探検！～社会教育主事講習より～

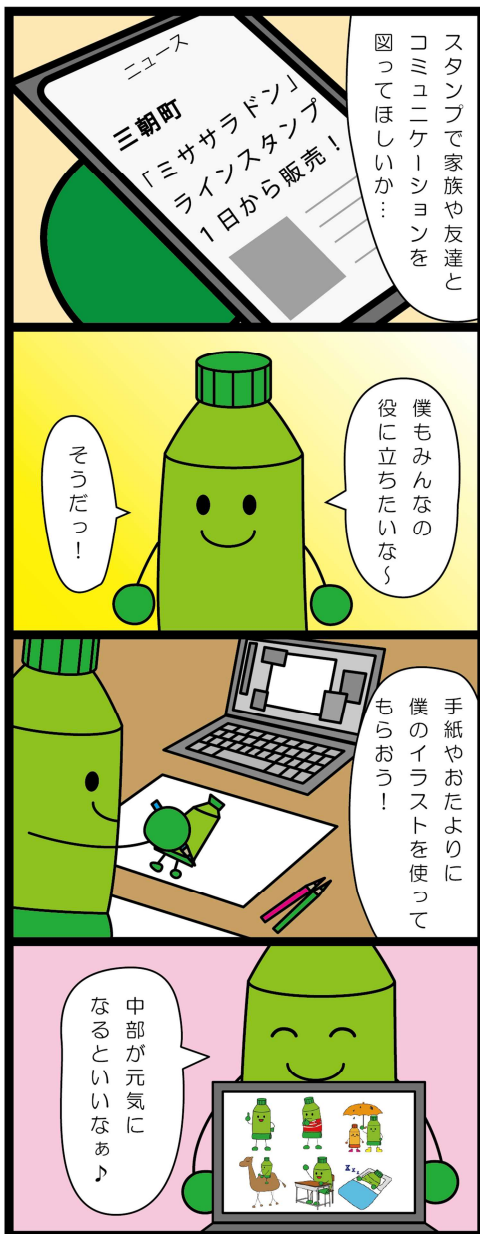
社会教育主事講習の現地研修で、社会教育施設である県立図書館と県立博物館にお邪魔しました。県立図書館は、情報収集の場として独自のサービスを行っておられ、全国でも注目を集めています。※次回は博物館を紹介します。

社会教育施設とは、家庭や学校以外で、児童から青年、成人、高齢者に至るまで、全ての年齢の人たちに、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供したりすることができる生涯学習のための施設です。社会教育法では、図書館、博物館、公民館などが挙げられます。

図書館の果たすべき役割とは



ちゅうぶくん ～役に立ちたい～



各サービスの位置づけ

○少子高齢化・人口減少への対応

- ・子育て支援コーナーの設置
- ・子ども連れでも使いやすい図書館の充実
- ・学校図書館支援
- ・いきいきライフ応援サービスの充実

○持続可能な経済活動への貢献

- ・ビジネス支援の充実
- ・働く気持ち応援コーナーの設置

現代社会の課題において
社会教育ができることは

ビジネス支援の例

Q.美容室を出店したいが市場が調べられるか。

Q.LEDの色と野菜の成長について知りたい。



働く人への情報提供や人々が興味あるものを調べやすくするような工夫があちこちに見られました。また、市町村の図書館と連携して当日の11時までには受けた資料要求については翌日最寄りの図書館に届くようなシステムを作っておられました。学びたくなるようなわくわくする図書館でした。「図書館が扱うのは本ではなく情報だ」という小林課長さんの言葉が印象的でした。

【あとがき】

ご存じ?中部教育局のキャラクターちゅうぶくんですが、イラストの達人、K 職員のおかげで150種類以上のポーズができあがりました。徐々にホームページにアップしていきますのでおたよりなどに御活用ください。(岸本)

中部教育局 社会教育担当 岸本隆治

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail kishimoto-r@pref.tottori.jp

